

あびらの脱炭素

安平町でゼロカーボン推進する取り組みの事例紹介や環境問題を改善するためのアイデアをお知らせします。

発信者 地域おこし協力隊ゼロカーボン推進員・岸本 佳也



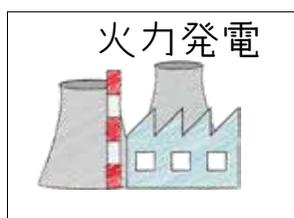
**ZERO
CARBON
HOKKAIDO
ABIRA**

ゼロカーボンとは

「ゼロカーボン」という言葉を聞いたことがある方も多かもしれません。

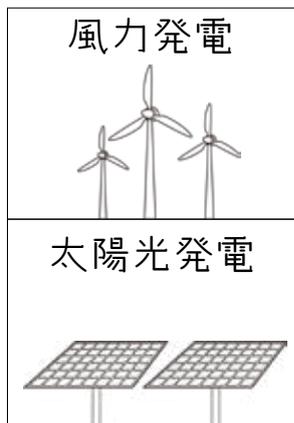
ゼロカーボンとは、エネルギーの生産や使用において二酸化炭素（CO²）の排出を実質ゼロにすることを指します。

例えば、現在、私たちが家庭で使う電気の多くは、火力発電所で石炭や天然ガスを燃やして作られていますが、この過程で多くの二酸化炭素（CO²）が排出されています。



この状況を変えるために、太陽光や風力など、持続的に活用できて二酸化炭素（CO²）を排出しない自然のエネルギーを主なエネルギー源とすることが求められています。

これにより、化石燃料を減らし、二酸化炭素（CO²）排出量から植林や森林管理による吸収量を差し引いて、実質的に排出量をゼロにすることがゼロカーボンの目標です。



地球温暖化とゼロカーボン

現在、地球温暖化による気温上昇や異常気象、海面上昇などの影響が顕著になってきています。



この問題に対応するため、世界各国が温室効果ガス（二酸化炭素など含む）の削減に向けた取り組みを加速させています。

その中でも特に注目されるのが「パリ協定」で、2015年にフランスで採択されたこの協定は、地球全体の気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満に抑えることを目指しており、さらに1.5℃未満を目指す努力が求められています。

日本もこのパリ協定に基づき、再生可能エネルギーの推進やエネルギー効率の向上といった具体的な政策を実施しています。

次号の「あびらの脱炭素」では、私たちの日常生活で取り組める省エネのアイデアをご紹介します